J's STYLE

PRESENTS

増刊
まぁむ

創刊**1**号

成人向

ADULT ONLY

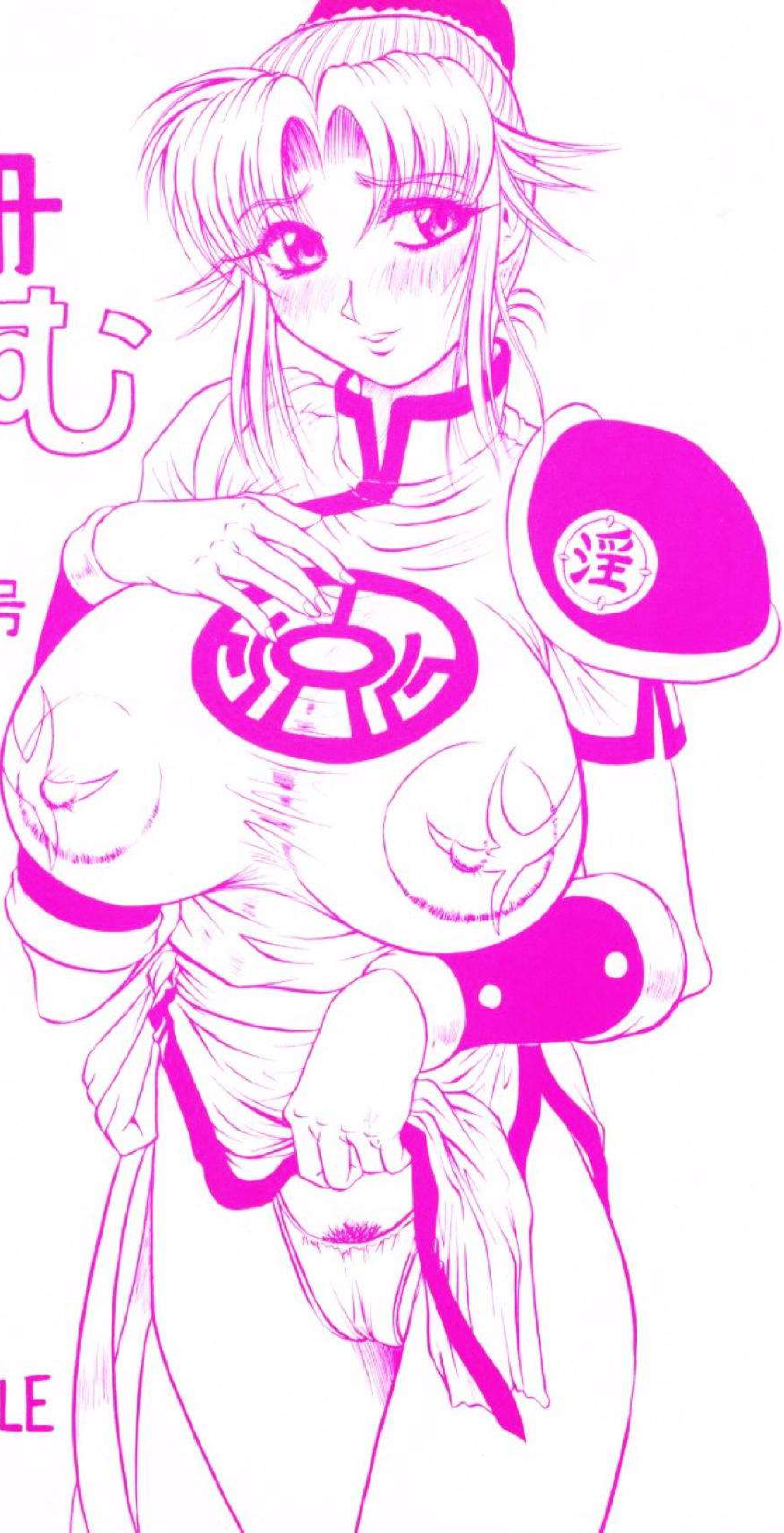
増刊
まぁむ

創刊1号

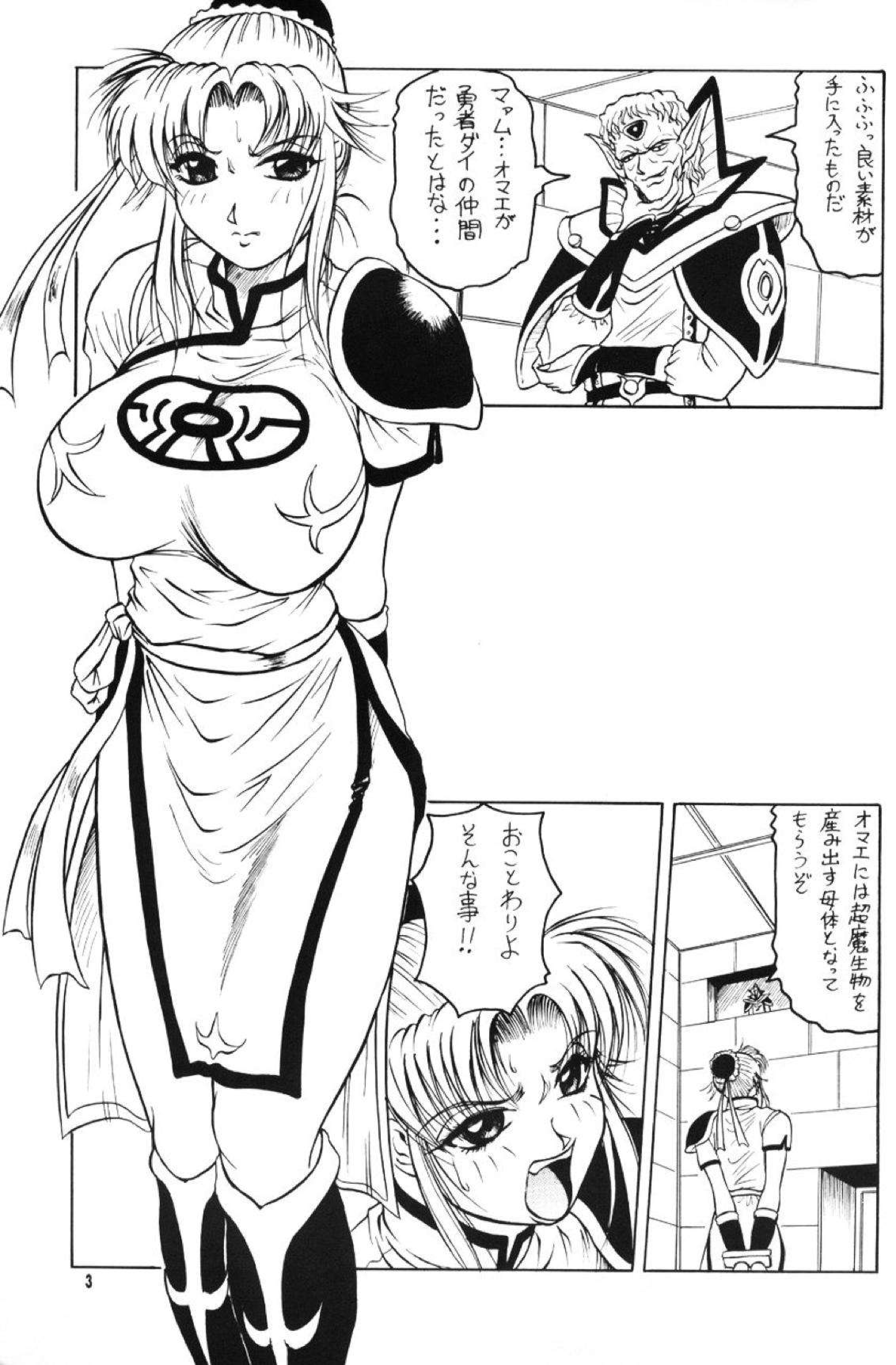
J's STYLE

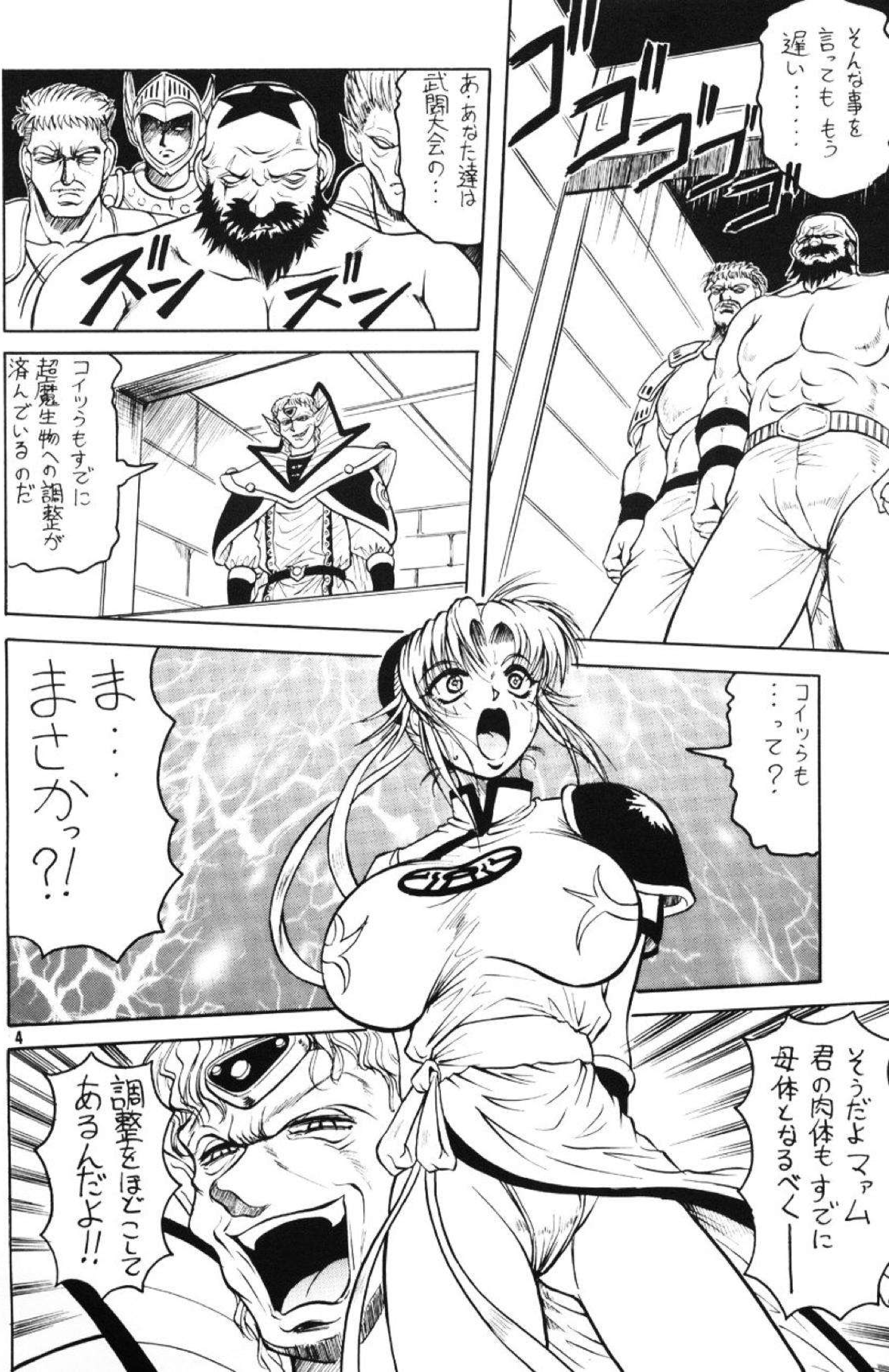
別冊
まぁむ

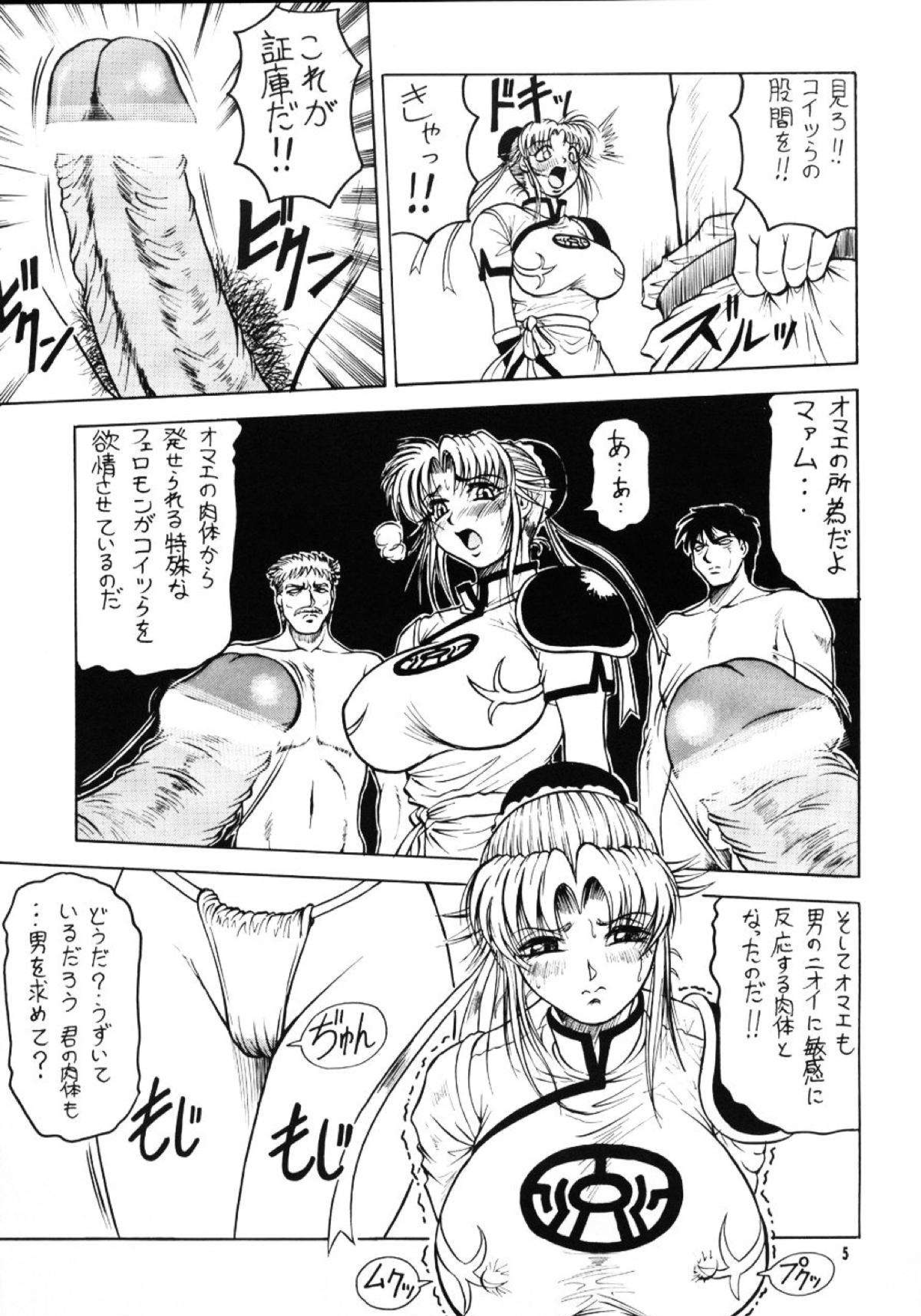
12月号

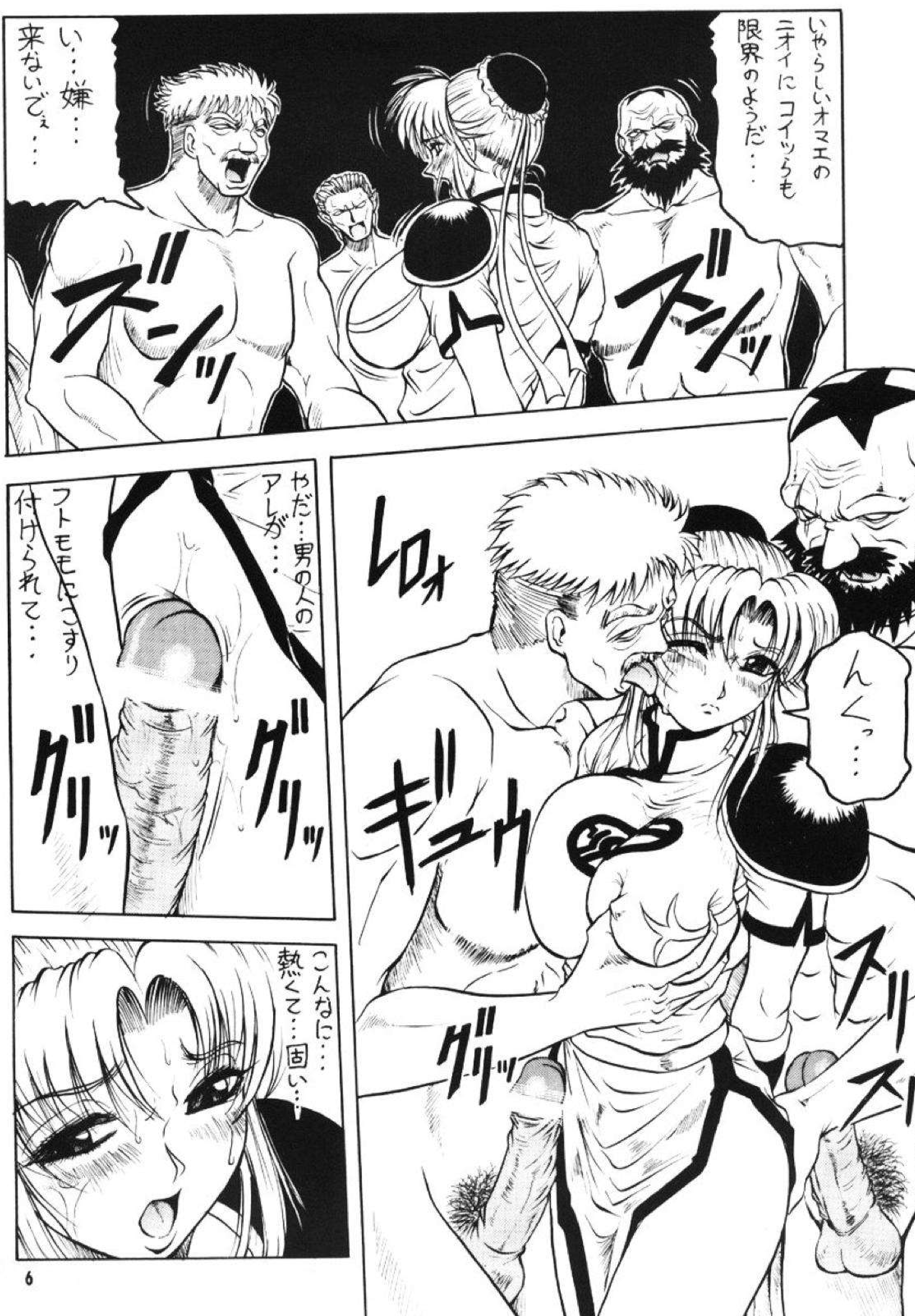


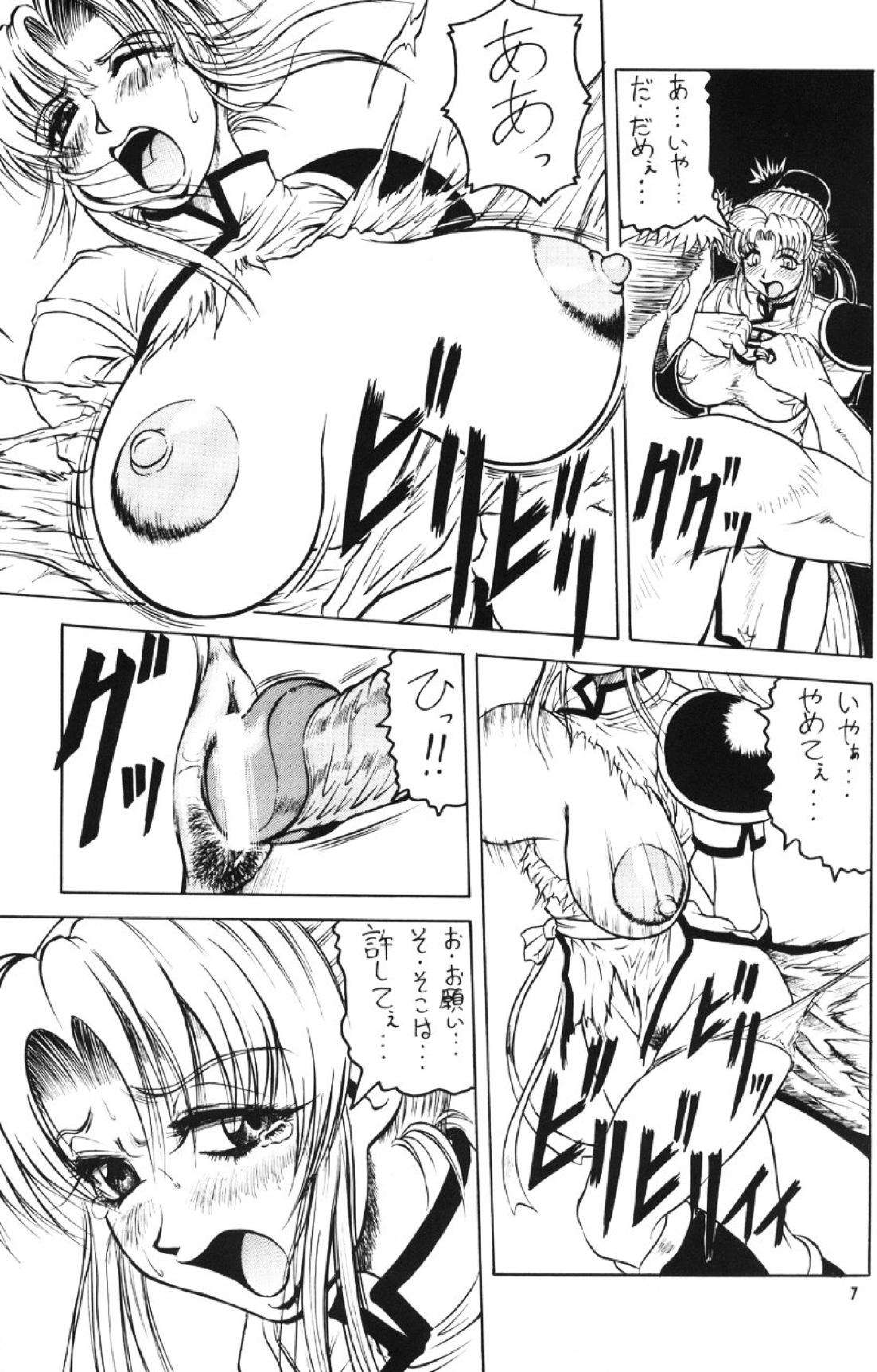
J's STYLE

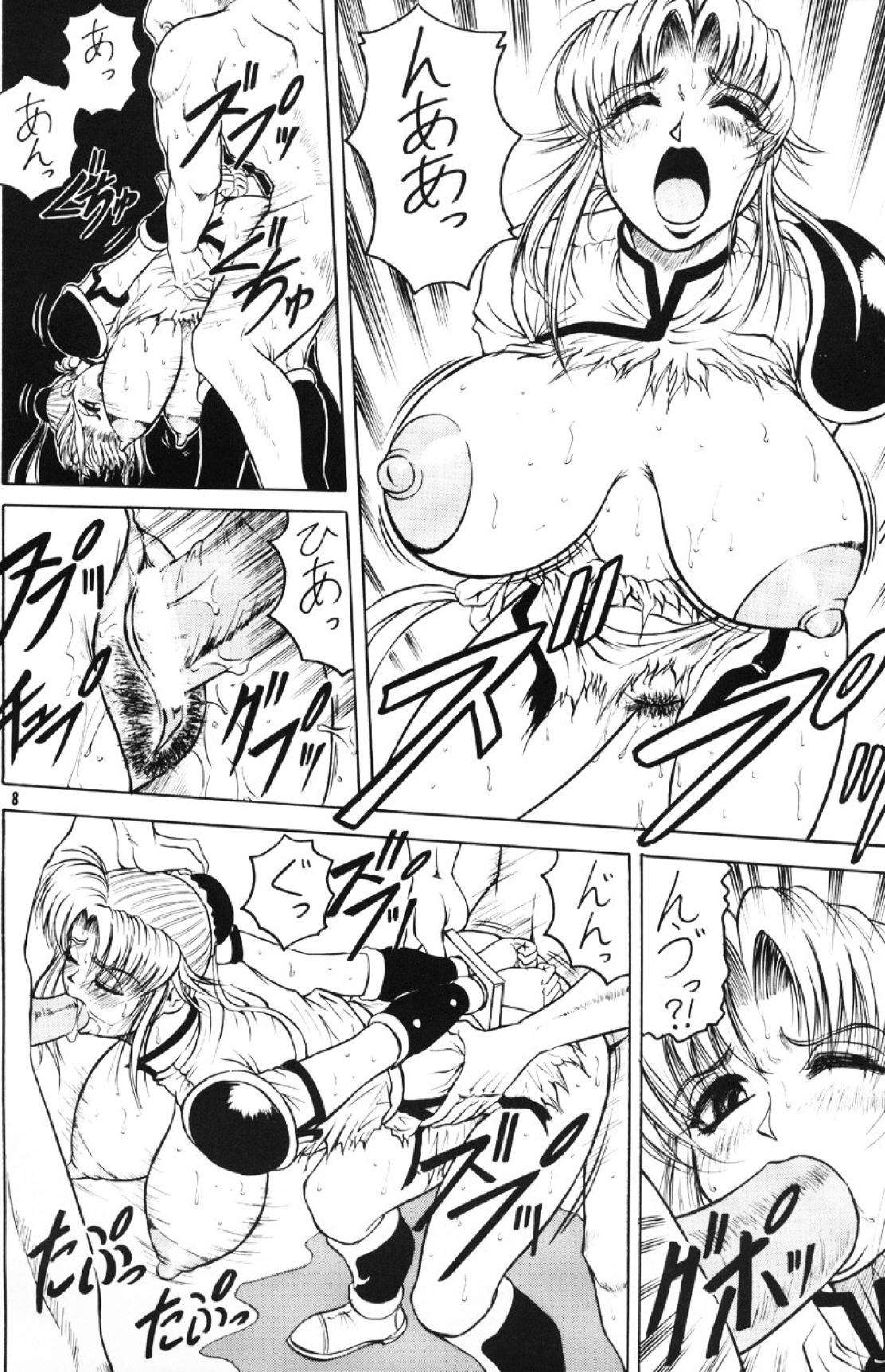

ふふふっ良い素材が手に入ったものだ
マァム…オマエが勇者ダイの仲間だったとはな…
オマエには超魔生物を産み出す母体となってもらうぞ
おことわりよそんな事!!


そんな事を言ってももう遅い……
ゴゴゴゴゴゴ
あ・あなた達は武闘大会の・・・
ズン ズン
コイツらもすでに超魔生物への調整が済んでいるのだ
コイツらも・・・って？
ま・・・まさかっっ?!
そうだよマァム君の肉体もすでに母体となるべく——
調整をほどこしてあるんだよ!!

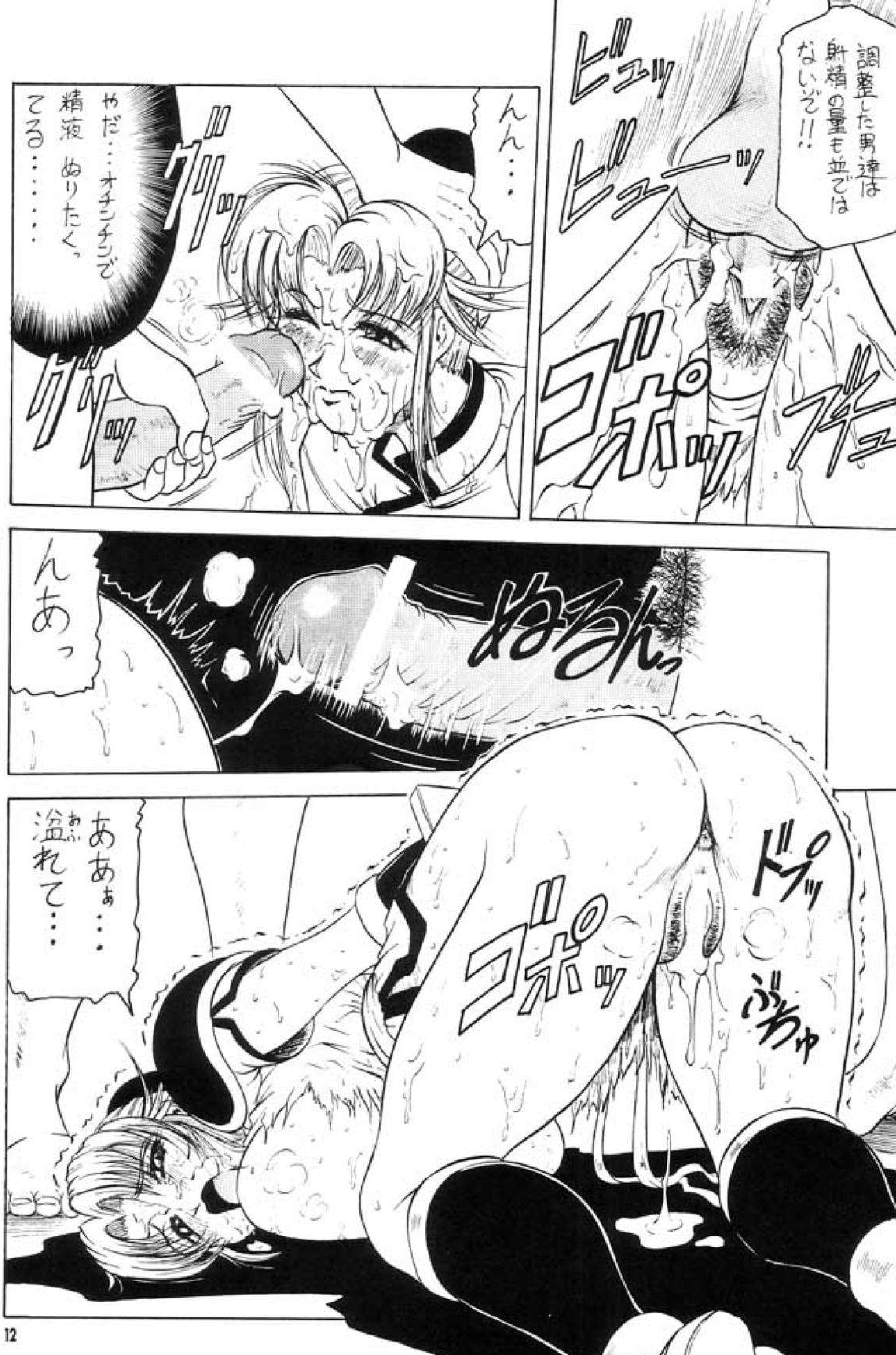

見ろ!!コイツらの股間を!!
ドキッ
きゃっ!!
ズルッ
これが証庫だ!!
ビクーン
ビクーン
オマエの所為だよ マァム・・・
あ…あ…
オマエの肉体から発せられる特殊なフェロモンがコイツらを欲情させているのだ
そしてオマエも男のニオイに敏感に反応する肉体となったのだ!!
ぢゅん
どうだ?・うずいているだろう 君の肉体も・・男を求めて?・
もじ
もじ
プクッ
ムクッ

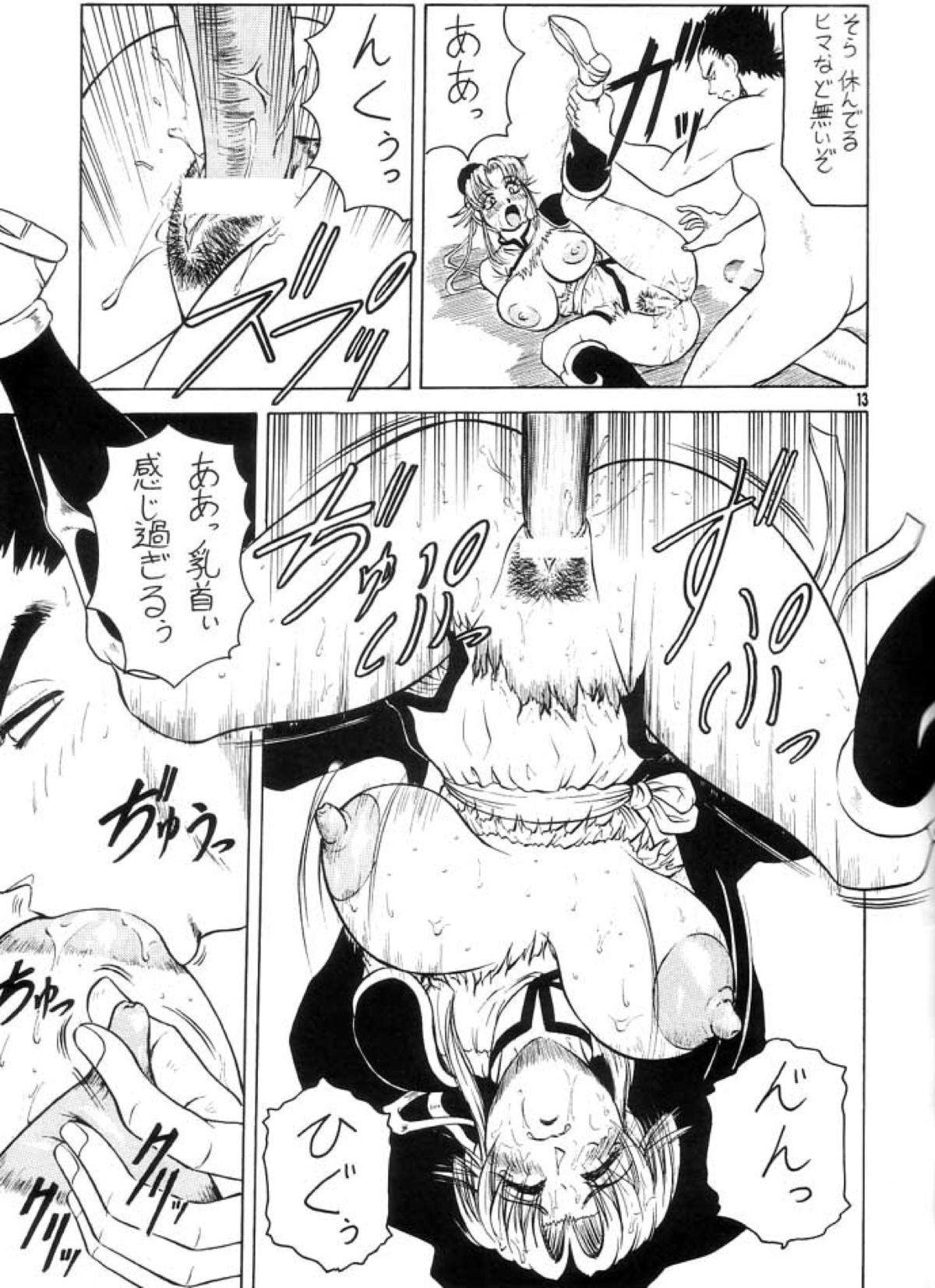

いやらしいオマエのニオイにコイツらも限界のようだ・・・
い・・・嫌・・・来ないでぇ・・・
ズンッ
ズンッ
レロォ
んくっ・・・
ギュウ
スリスリ
グリッ
やだ・・・男の人のアレが・・・フトモモにこすり付けられて・・・
グリッ
グリッ
こんなに・・・熱くて・・・固い・・・

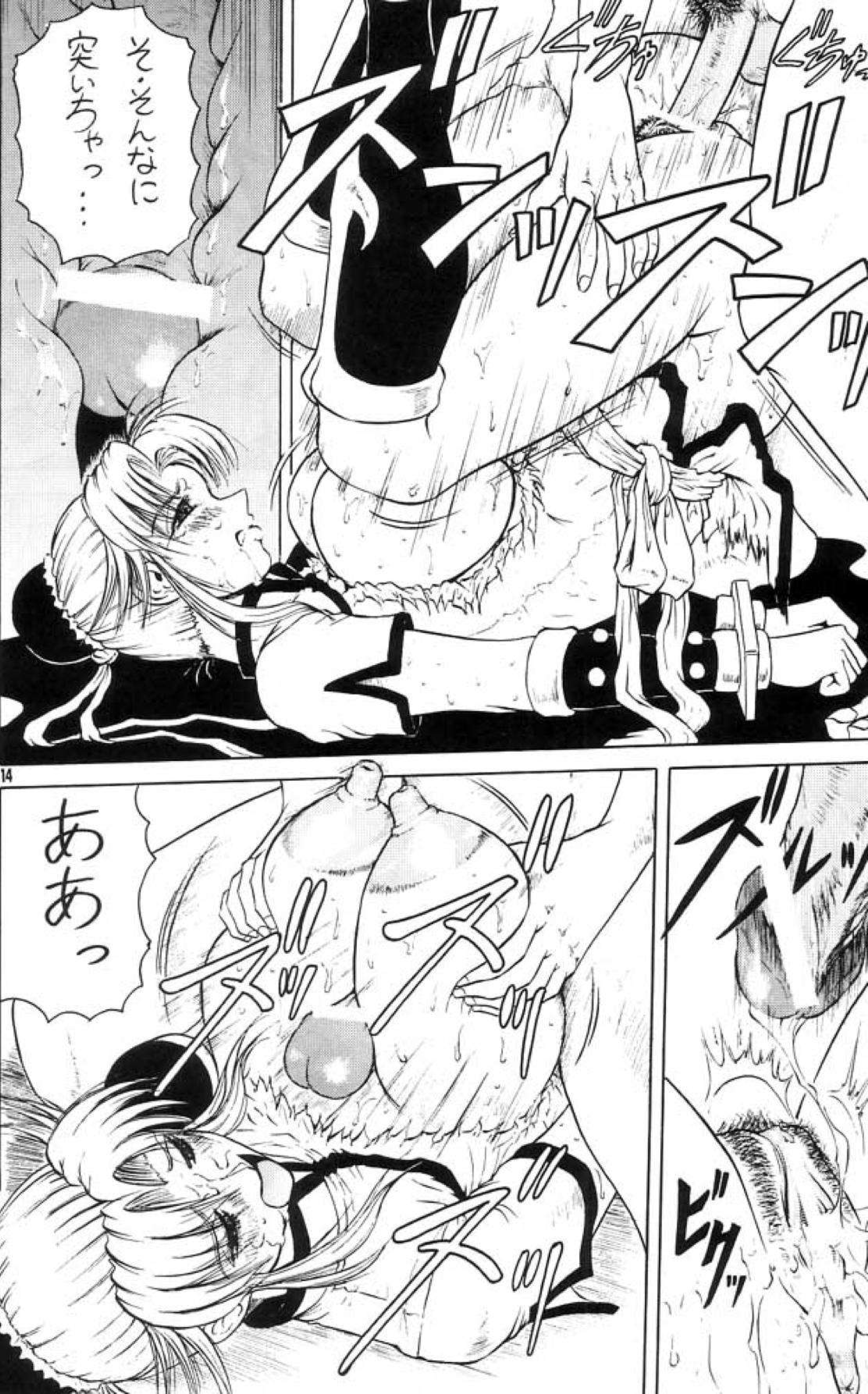

あ…いや…
だ・だめぇ…
ググッ
あぁっ
ビリビリ
いやぁ…
やめてぇ…
ビリビリビリィィ
ひっ!!
グッ
お・お願い…
そ・そこは…
許してぇ…

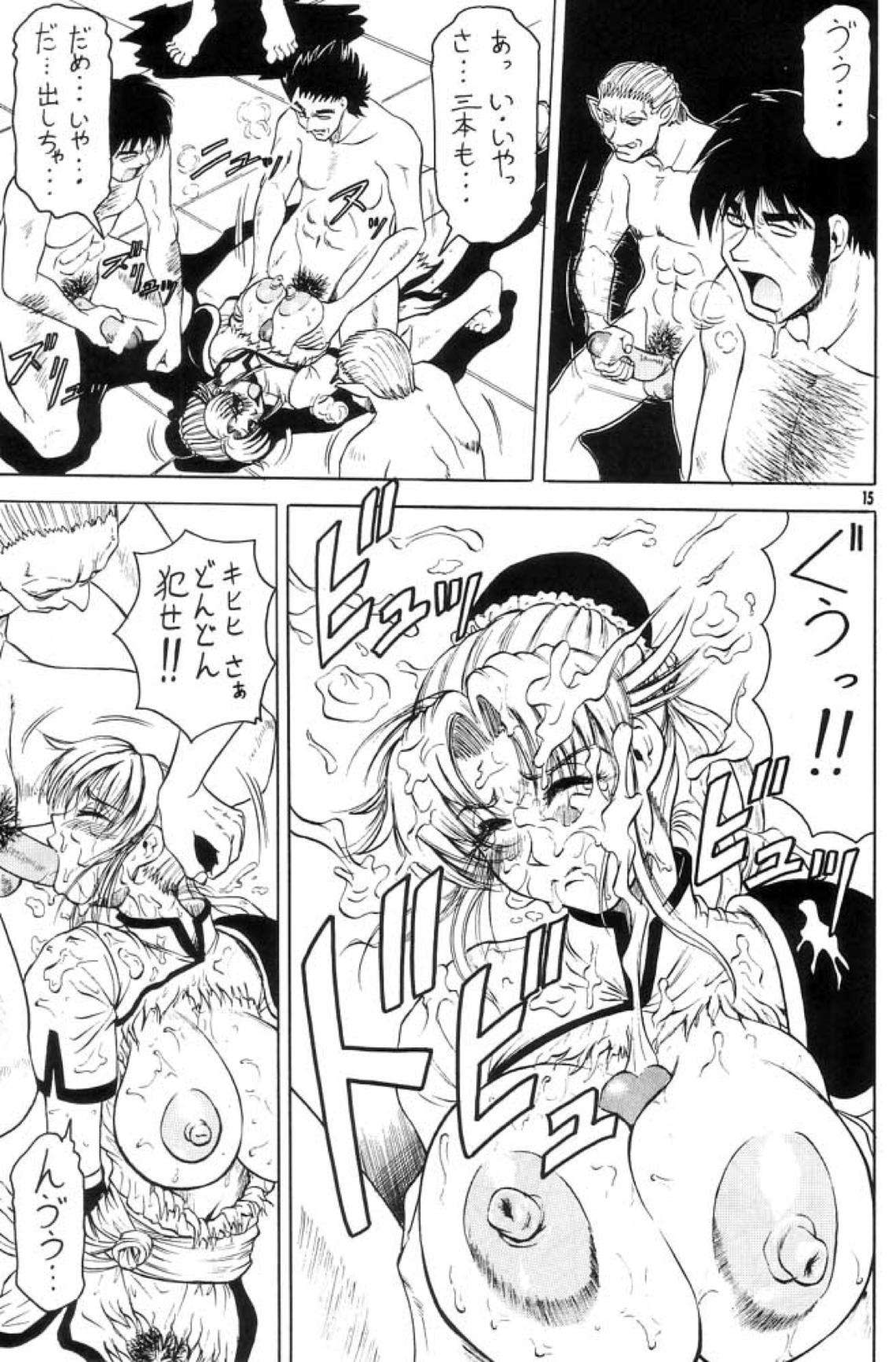

んあああっ
ズプッ
あっ
あんっ
ズプッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ひあっ
ヌプッ
チュプ
グプッ
んぶっっ?!
グポッ
んんっ
ズプ
ぐっ
ズプ
たぷっ
たぷっ

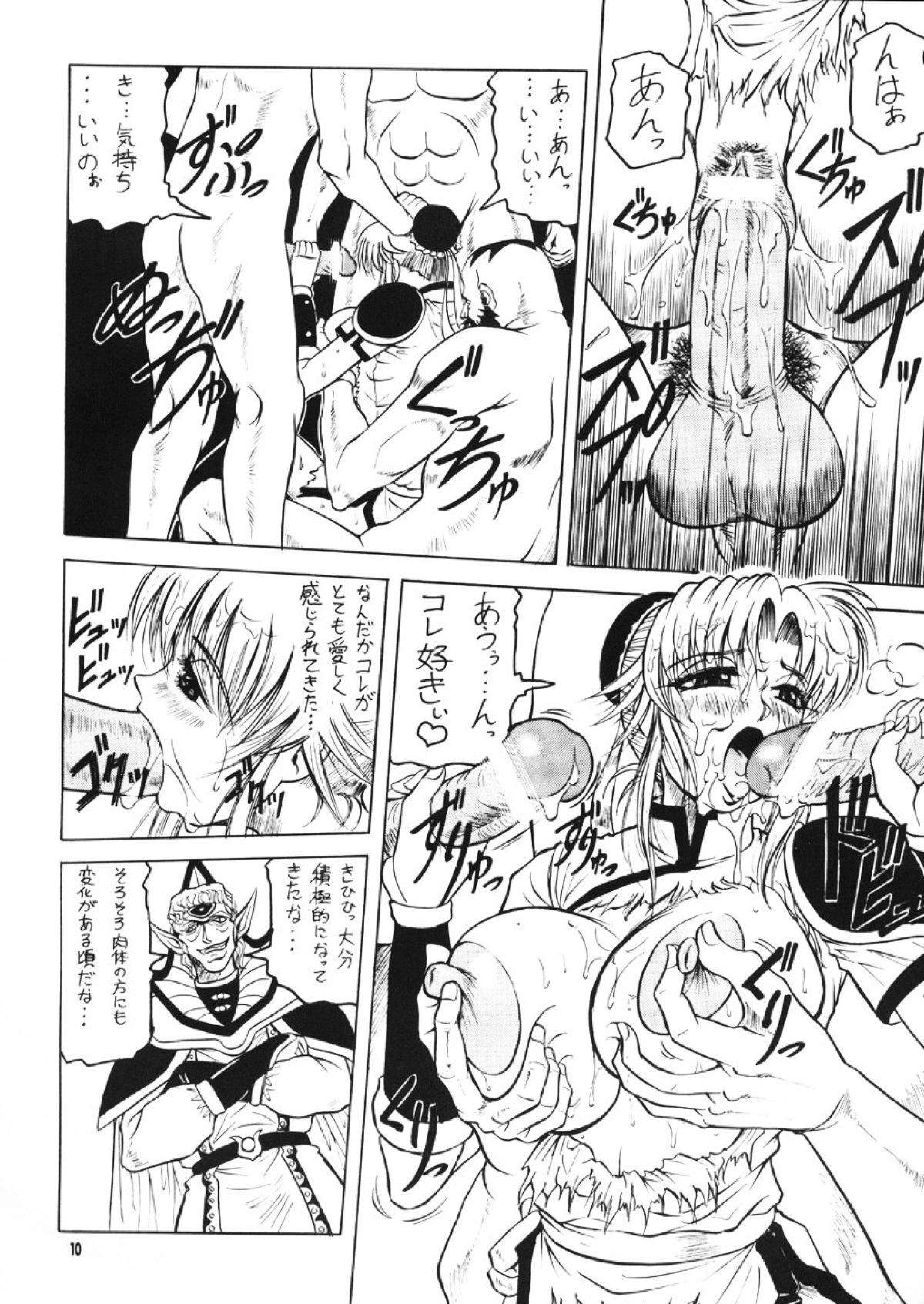
男の人のアレが…
激しく…出入りしてる…
んんっ
ズンッ
んんんんーーっ
ズブッ
んはぁあああっ!!
ドビュ
ドビュ
ちゃぽ
あふっ
ビュッ
ビュッ

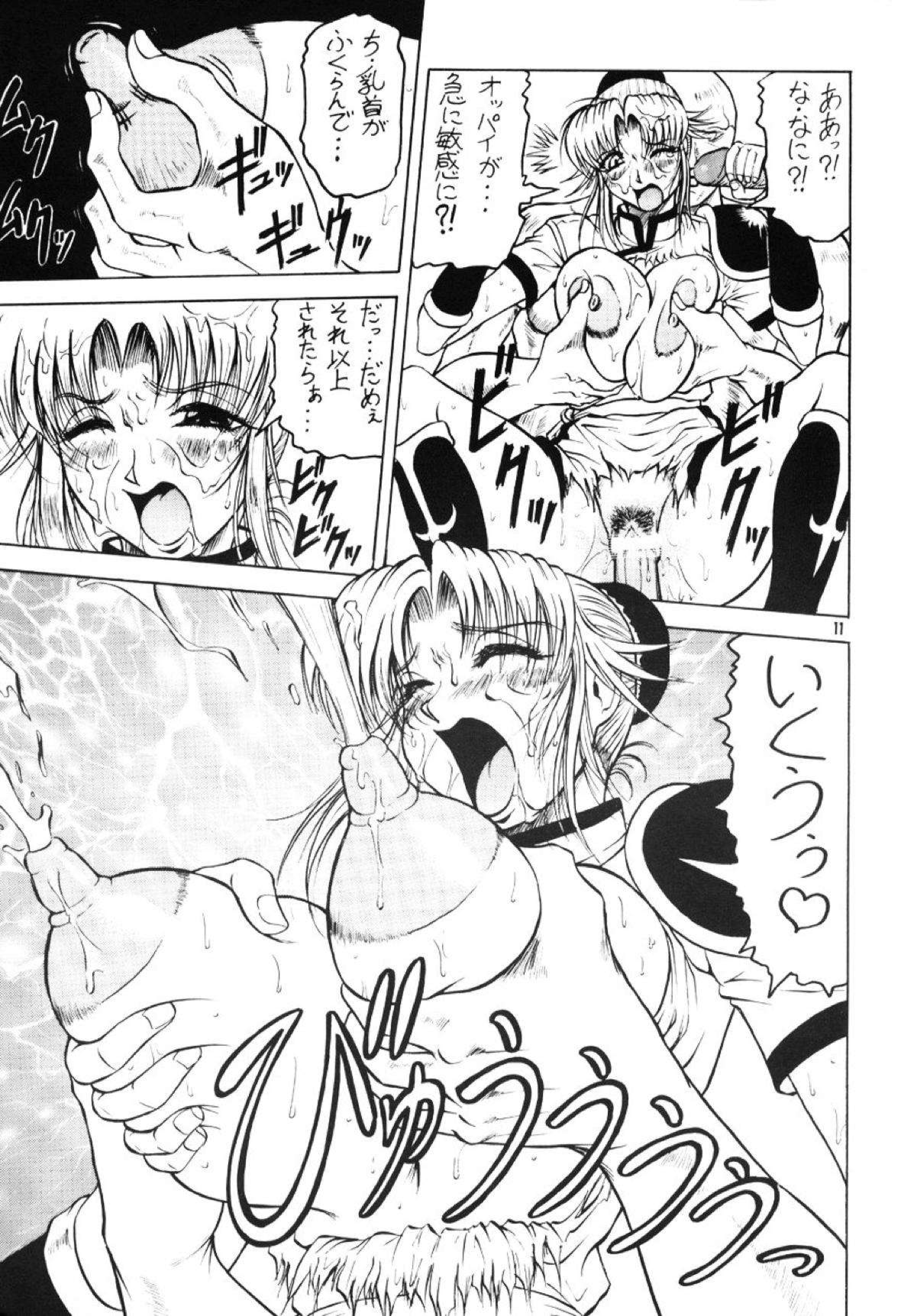

ビュッ
ビューーッ
調整した男達は射精の量も並ではないぞ!!
ゴポッ
ブチュ
んん・・・
やだ・・・オチンチンで精液ぬりたくってる・・・・・・
グリッ
グリッ
ぬるんっ
んあっ
ドプッ
ゴポッ
ぶちゅ
ああぁ・・・・溢（あふ）れて・・・

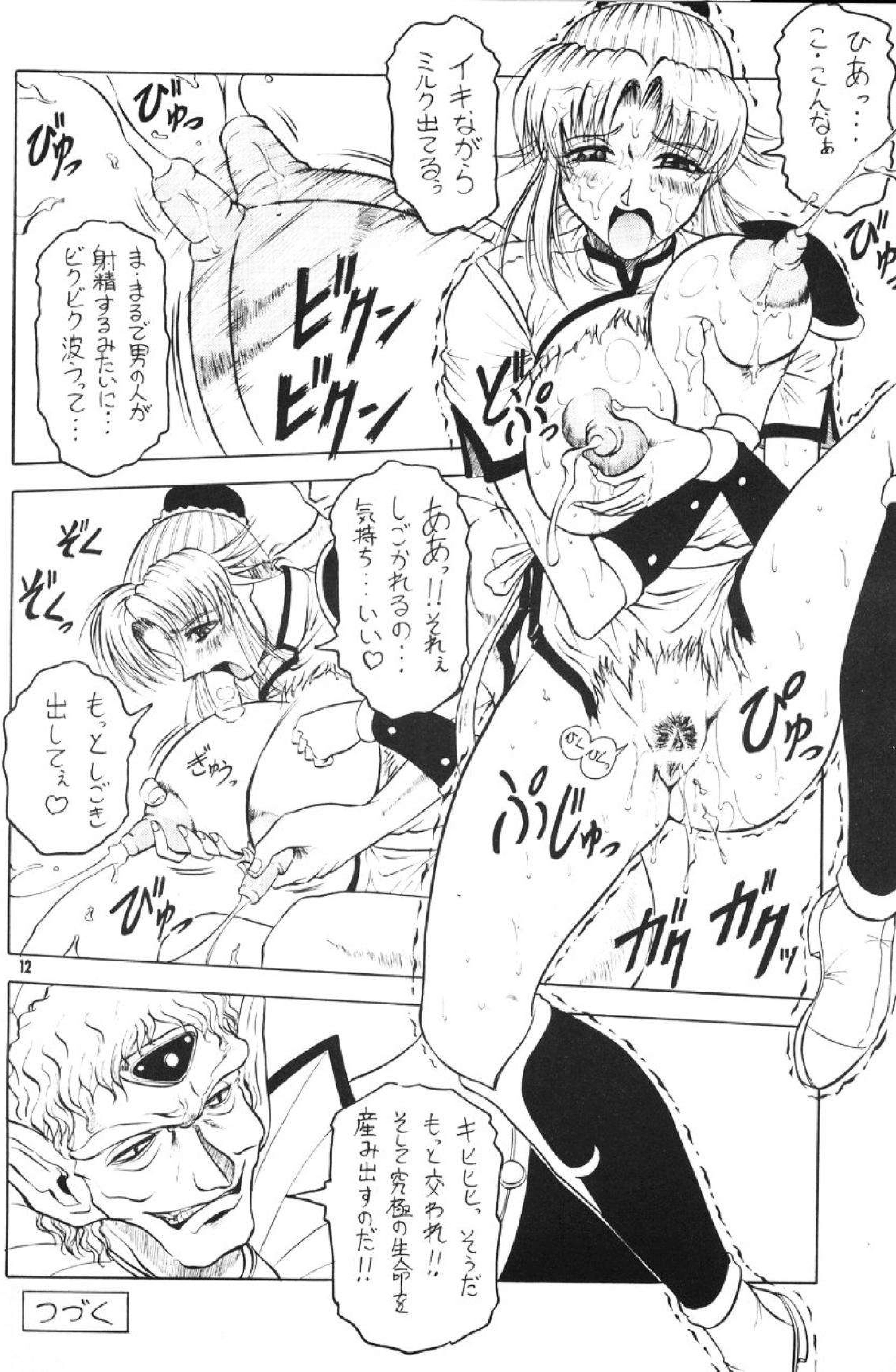

そら 休んでる ヒマなど無いぞ
ガッ
ああっ
んくうっ
ズブッ
ずぱっ
ぢゅぱっ
ああっ 乳首ぃ 感じ過ぎるぅ
んんっ
ひぐっ
ぢゅうっ
ちゅっ
グリッ
グリッ

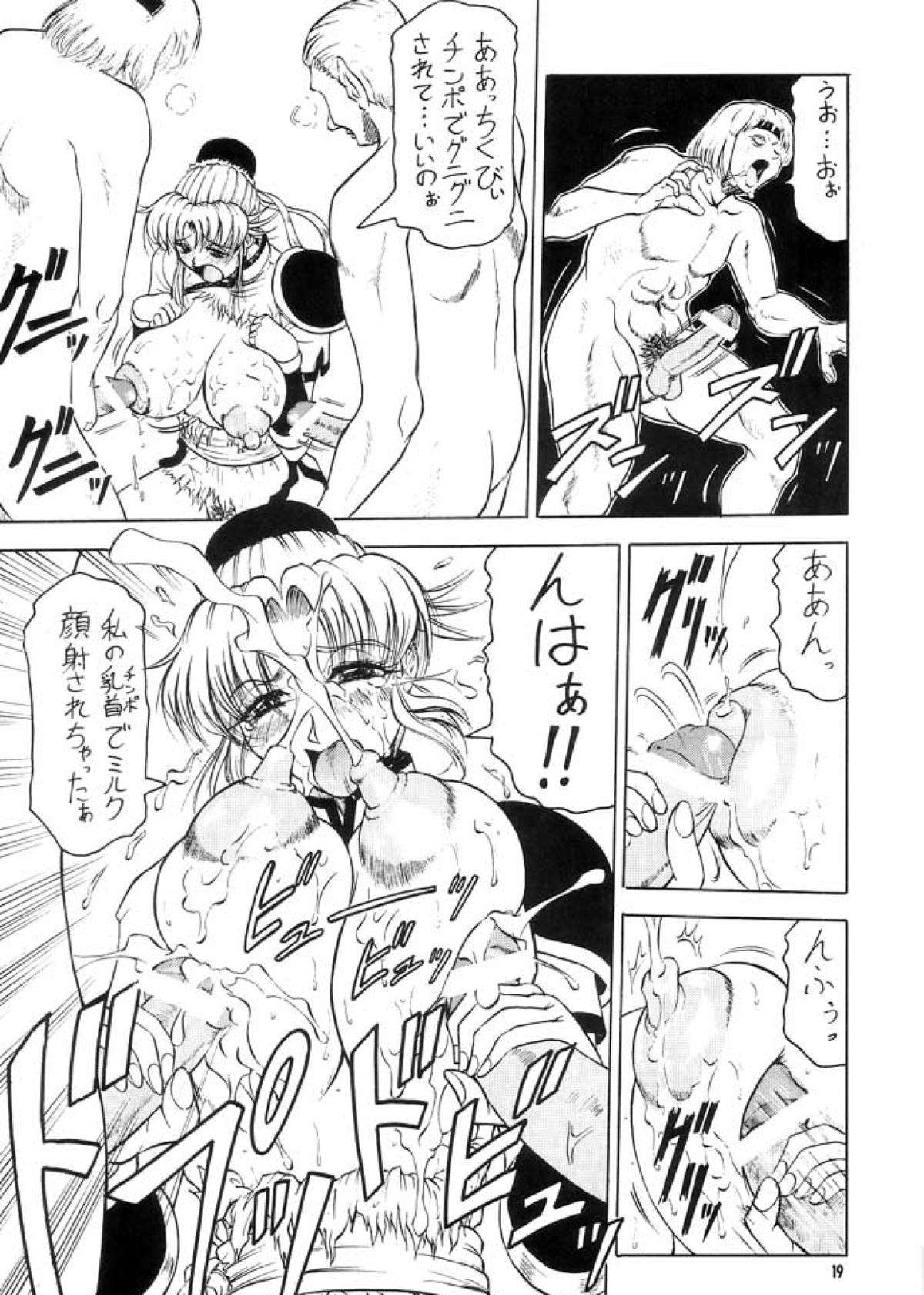

ぐちゅ
ぐちゅ
ズブッ
ズブッ
ズブッ
そ・そんなに
突いちゃっ・・・
ズブッ
ビクッ
ズブッ
ズブッ
ああっ

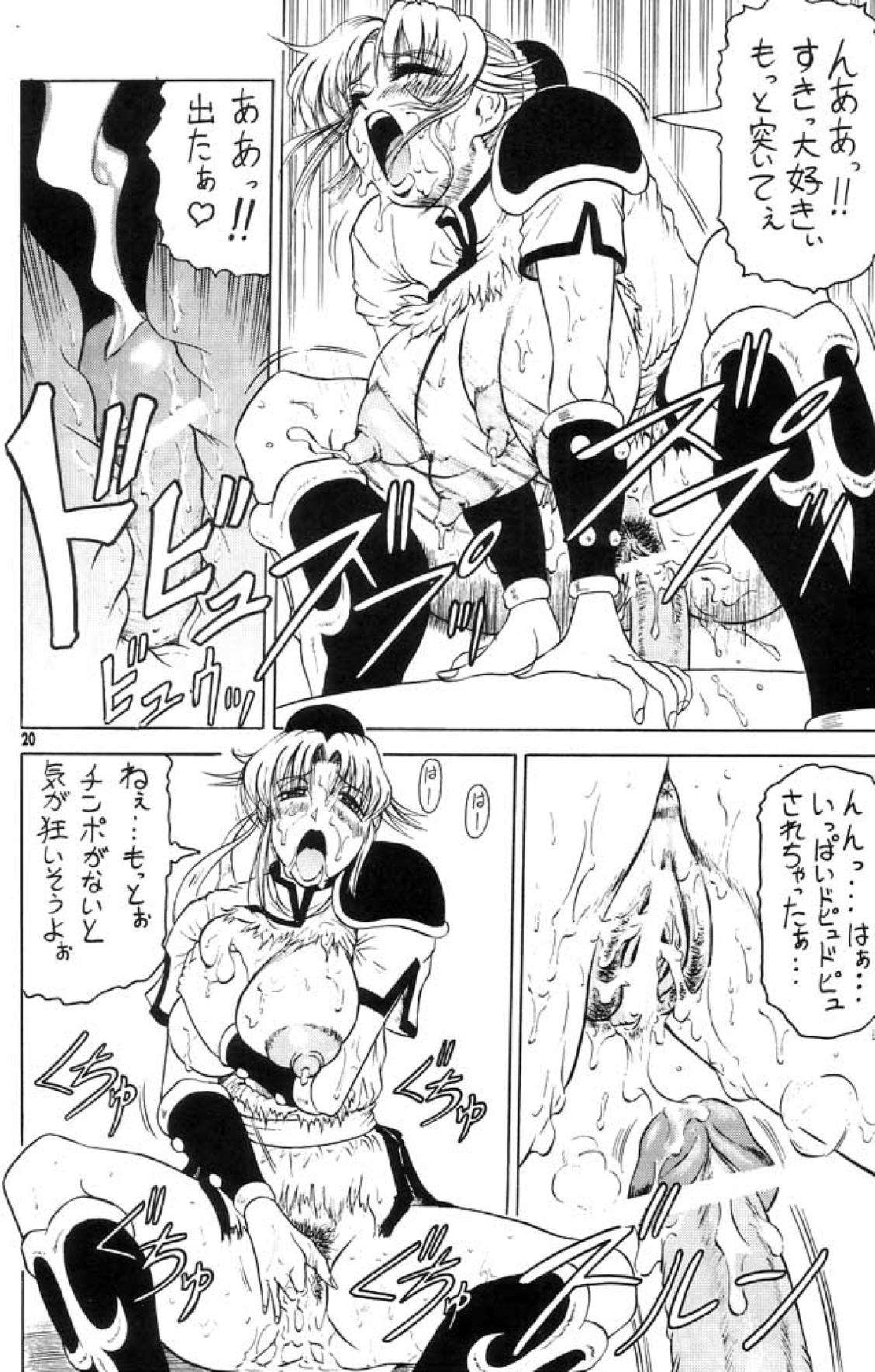

ゔう・・・
あっ い・いやっ さ・・・三本も・・・
ヌッ
ニュッ
だめ・・・いや・・・ だ・・・出しちゃ・・・
ズリュッ
ズリュ
くうっ!!
ビュブッ
ビュッ
ドビュ
ビュッ
キヒヒ さぁ どんどん 犯せ!!
んぶう・・・

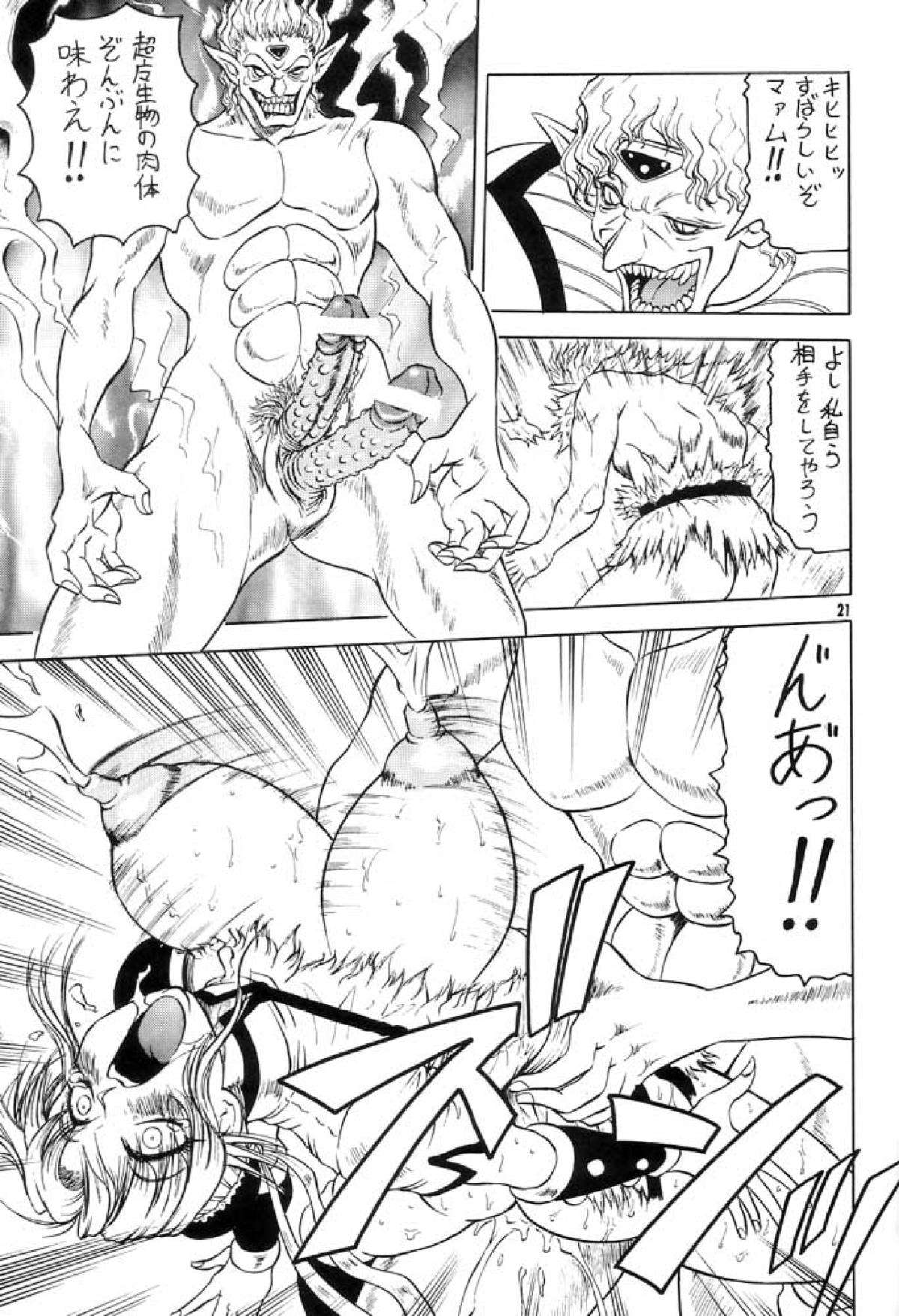

んはぁ
あんっ
ぐちゅ
ぐちゅ
ズブッ
ズブ
あ…あんっ …い…いい…
き…気持ち …いいのぉ
ずぷっ
ぬっちゅ
ぐっちゅ
あうぅ…んっ コレ好きぃ♡
ずりゅっ
ずりゅっ
ドビュ
ぐりっ
ぐりっ
なんだかコレが とても愛しく 感じられてきた…
ビュッ ビュッ
ゴクッ
ゴクッ
きひひっ大分 積極的になって きたな…
そろそろ肉体の方にも 変化がある頃だな…

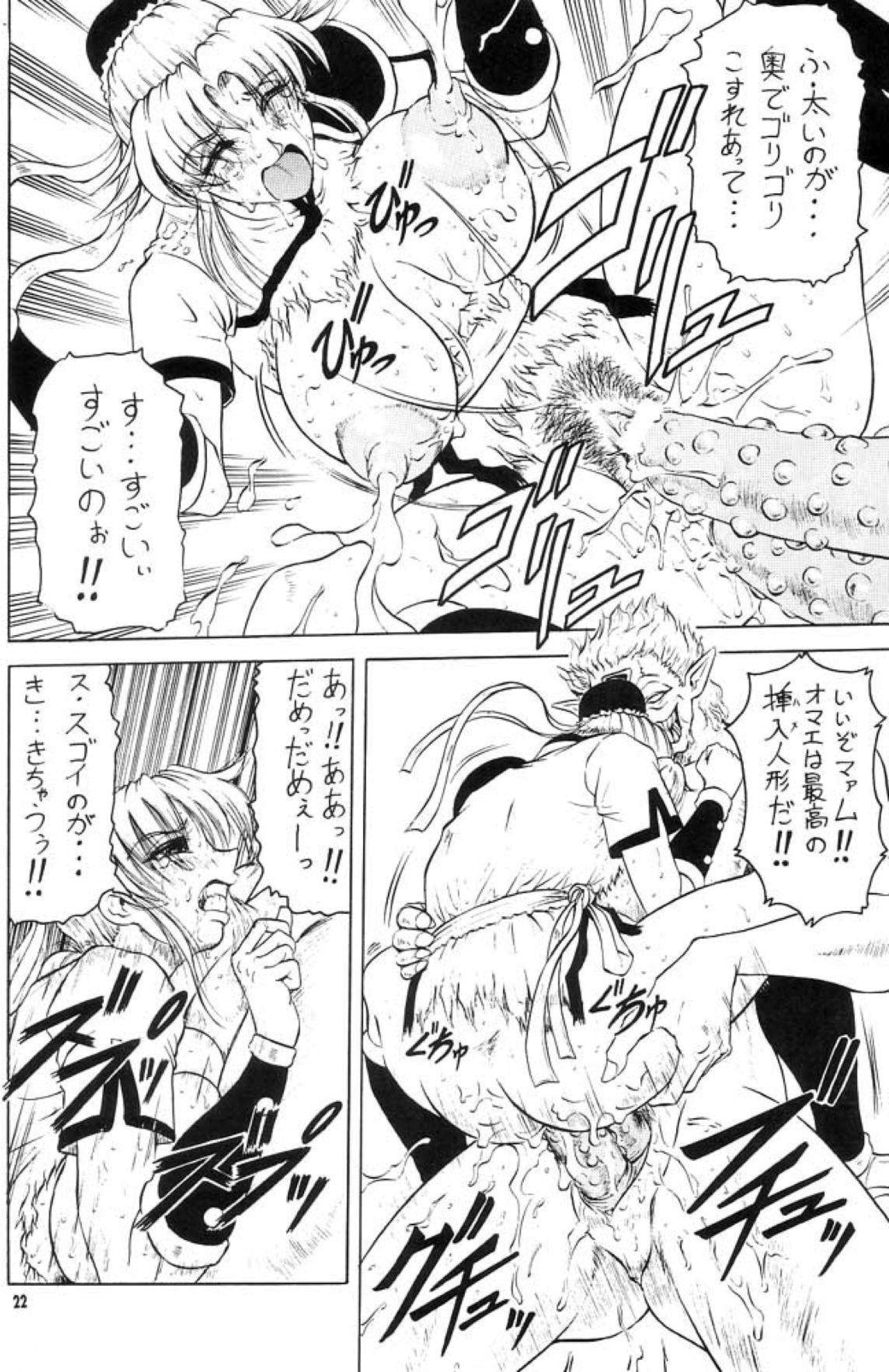

ああっ?!
な・なに?!
オッパイが・・・
急に敏感に?!
ビクッ
ビクッ
ち・乳首が
ふくらんで・・・
ギュッ
ギュウッ
ムクムクッ
だっ・・・だめぇ
それ以上
されたらぁ・・・
ビクビクッ
いくううっ♡
びゅううううっ


ひあっ・・・
こ・こんなぁ
イキながら
ミルク出てるぅっ
びゅっ
びゅっ
びゅっ
ビクン
ビクン
ま・まるで男の人が
射精するみたいに・・・
ビクビク波うって・・・
どぷっ
ああっ!!それぇ
しごかれるの・・・
気持ち・・・いい♡
ぞく
ぞくっ
もっとしごき
出してぇ♡
ぎゅうっ
びゅっ
ぴゅっ
ひくひくっ
ぷじゅっ
ガクガクッ
キヒヒヒ、そうだ
もっと交われ!!
そして究極の生命を
産み出すのだ!!
つづく

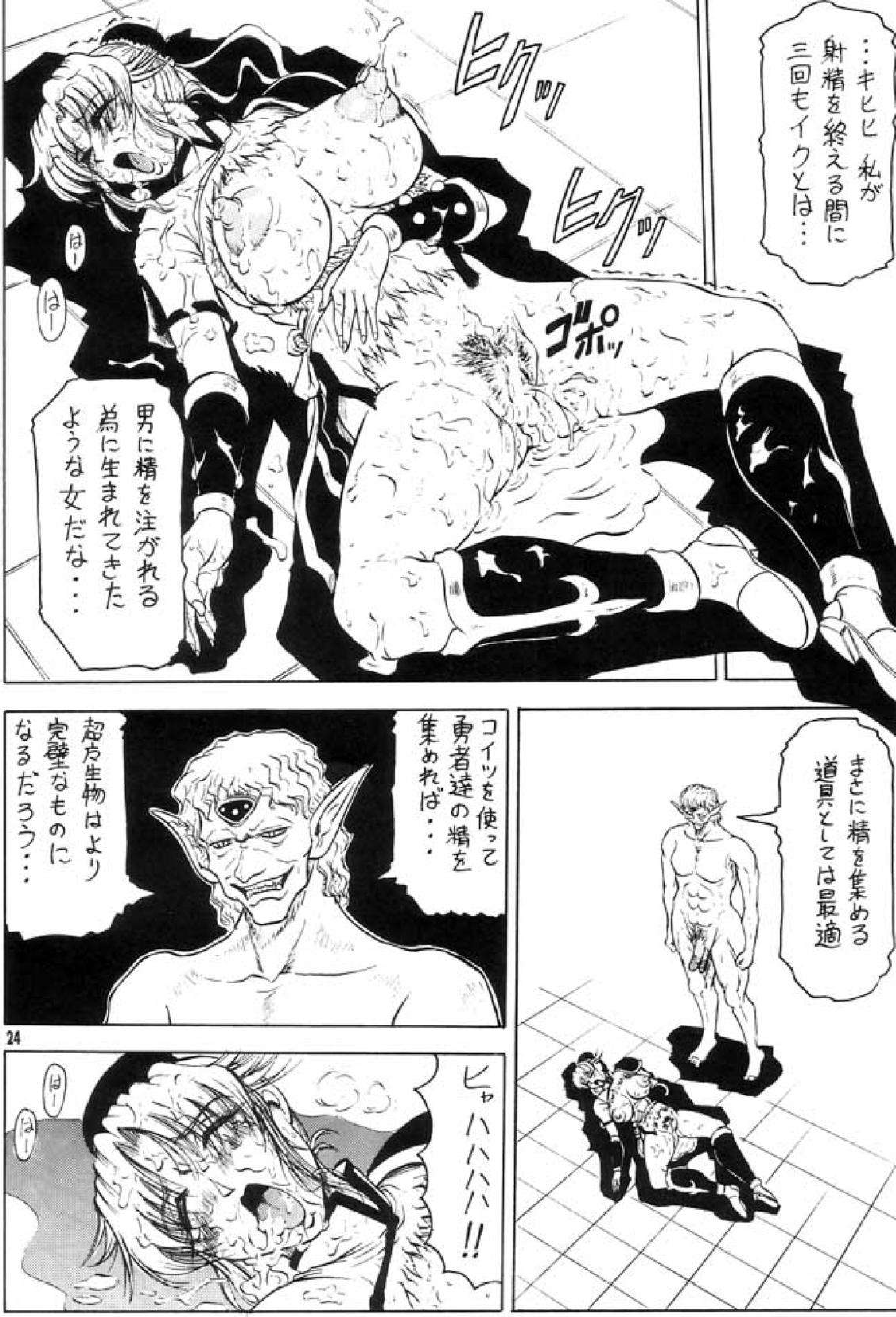

うお…おぉ
ズリッ
ズリッ
ああっちくびぃ
チンポでグニグニ
されて…いいのぉ
グニッ
グニッ
あぁんっ
グリッ
んふぅっ
グリッ
んはぁ!!
私の乳首（チンポ）でミルク
顔射されちゃったぁ
ビューッ
ビュッ
ドプッ
ドピュッ


んあぁあっ!!
すきっ大好きぃ
もっと突いてぇ
ズリュッ
ズプッ
ああっ!!
出たぁ♡
ドビュッ
ビュウッ
んんっ…はぁ…
いっぱいドピュドピュ
されちゃったぁ…
ズルーッ
はー
はー
ねぇ…もっとぉ
チンポがないと
気が狂いそうよぉ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ


キヒヒヒッ
すばらしいぞ
ファム!!
よし 私自ら
相手をしてやろう
超古生物の肉体
ぞんぶんに
味わえ!!
ん゛あっ!!


ふ・太いのが・・・
奥でゴリゴリ
こすれあって・・・
ゴリュッ
ゴリュ
びゅっ
びゅっ
す・・・すごいぃ
すごいのぉ!!
いいぞファム!!
オマエは最高の
挿入人形だ!!
ぐちゅ
ぐちゅ
ズチュッ
グチュッ
あっ!!ああっ!!
だめっだめぇーっ!!
ス・スゴイのが・・・
き・・・きちゃうぅ!!
ズッ
ズブッ

そらっ!!数年分の精液を受けて盛大にイクがいい!!
ビクーン
ビクビクッ
グググッ
んはあああああっ!!
ビュ
ドビュ
ドプゥ


・・・キヒヒ 私が射精を終える間に三回もイクとは・・・
ヒクッ
ヒクッ
ゴポッ
はー
はー
男に精を注がれる為に生まれてきたような女だな・・・
まさに精を集める道具としては最適
コイツを使って勇者達の精を集めれば・・・
超方生物はより完璧なものになるだろう・・・
ヒャハハハハハ!!
はー
はー

つづく(?)

あとがき

今回もかなーり アレな進行＆完成度ですが楽しんでいただけましたでしょうか？これでようやく1話が終りました。（全何回なのかは ナゾですが）

今後の展開としては…［ザムザの暗示により仲間達を誘惑してしまうマァム］とか［城の一般兵士達に輪姦されてしまうマァム］［ベンガーナ王に協力するみかえりとして肉体を要求されてしまうレオナ］など考えております。

まぁ、オレの言う事ですからどーなるか分かりませんが。。。の（笑）話半分で聞き流して下さいませませ。

他にも ボーグマン・アニス とか ジリオン・アップルなんかもやりたいんですけどね。まぁオレの言う事ですから・・・くりかえし

じゃみんぐ

おくづけ

2002年12月30日　初版発行

ご意見・ご感想は下記まで!!

[redacted]

[redacted]

J's STYLE

PRESENTS